

令和3年度
社会人選抜(A日程)
文化学科
〔文化総合系(夜間主コース)〕
小論文
問題・出題の意図・採点評価基準

令和2年11月22日

高知県立大学

問 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

（配点100点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：荻谷剛彦『知的複眼思考法—誰でも持っている創造力のスケッチ』講談社、2002年

（出題の都合で出典の文章を一部省略・改変した。）

問1 本文の内容を200字以内の日本語に要約しなさい。

（配点50点）

問2 下線部「もともとの概念の定義にはお構いなしに、何となく理解しているレベルで、こうした難しいことばを使ってしまう場合」について、本文中に挙げられているもの以外の事例を挙げながら、あなたの考えを400字以内の日本語で説明しなさい。

（配点50点）

<出題の意図>

- 問1 言葉の使用方法について書かれた課題文を正確に読み取ることができているかどうかを見る。
- 問2 課題文の内容に基づいて、適切な事例を提示しながら、自分の考えを論理的に記述する能力を見る。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- (1) 言葉の使用方法について書かれた課題文の内容を正確に理解することができるか（読解力）。
 - (2) 課題文の要旨をまとめることができるか（文章表現力）。
- 問2 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の理解に基づいて、適切な例を挙げることができるか（読解力、知識・理解力）。
 - (2) 言葉の使用方法について、自らの考えを論理的に的確に表現することができるか（論理的思考力、文章表現力）。